

今、学校園がおもしろい!!

2020年2月28日

「2019年度泉佐野市人権のつどい」

令和元年12月7日（土）、エブノ泉の森小ホールにて「2019年度泉佐野市人権のつどい」が行われました。

第1部は、音楽のつどいとして、「願いはひとつ」～あそびのない世界～、をテーマにコンサートが開かれました。クラシックの名曲「月光」のほか、「翼をください」や「アンパンマンのマーチ」など、子どもたちにも馴染みのある楽曲が演奏され、ホールは素敵な歌声と美しいピアノの音色に包まれました。

第1部終了の後、休憩を挟んで、発表のつどいとして、今年度の泉佐野市人権作品コンテストの表彰式が行われました。

泉佐野市人権作品コンテストは、「作文」「詩」「読書感想文」「標語」「ポスター」「書道」の6部門からなり、今年度も市内小中学生から多くの作品応募がありました。第2部では、それぞれの部門において最優秀賞と優秀賞に入賞した小中学生に、泉佐野市人権を守る市民の会会長から表彰状がおくられました。壇上で表彰



状を受け取る時の子どもたちの表情は、緊張した面持ちの中にも、うれしさと自信を覗かせていました。表彰のあと、「作文」「詩」「読書感想文」の最優秀賞作品の朗読発表が行われました。

どの作品も、自分の人権のみならず、他者の人権についても大切にしている内容で、心を打つ素晴らしい朗読でした。



また、小ホール前のホワイエには、「標語」「ポスター」「書道」の作品が展示され、訪れた多くの参加者は朗読発表や展示作品を通して、「人権」について深く考える機会になったのではないのでしょうか。



「泉佐野市子どもの主張コンクール」

今年度より、市立小中学校に在籍する児童・生徒を対象に、「泉佐野市子どもの主張コンクール」を開催しています。

このコンクールは、これからの時代を担う子どもたちの、思考力や表現力、提案力を高めるとともに、仲間と協力して計画を実行する力を育むことをねらいとしています。取り組み方法は、まずは学校ごとに、学級や任意のグループ単位で、学校や社会で感じている疑問や課題をテーマとして設定します。そしてそのテーマの解決に向けて、実態を調べたり、解決するための方法や実行する内容について話し合い、具体的なプランを立てます。その後、プランに基づいて仲間と協力して実行します。実行後は、進み具合をふりかえり点検し、再チャレンジするということを繰り返し、最後には、実際に取り組んだ内容について報告書にまとめ、次のステップを考えるというものです。

今年度は、以下の学校が最優秀賞に選ばれ、1月18日の教育委員会表彰式にて表彰されました。



(市役所ロビーに展示)

小学校部門	末広小学校	代表委員会 「異学年交流を増やそう！」
中学校部門	長南中学校	人権問題研究部 「十人十色～「男」「女」だけじゃない十人いれば十の性～」

最優秀賞作品（末広小学校）の取り組みを紹介します。

- ①より良い小学校にするために、したいことについて話し合う。
「もっと、下の学年の子たちと関わりたい」「でも現状は・・・」
- ②自分たちにできることを考える。
「昼休みに遊びの交流をしよう」「勉強を、高学年が低学年に教えに行こう」
「でも、授業時間内でするには限界もある もっと自然に交流する方法はないかな」
- ③今すぐにできることをやってみる。
＜アクション1＞掃除の時間に他学年の応援
＜アクション2＞休み時間に1年生の教室訪問
＜アクション3＞クラスの「みんな遊び」の時間に、他学年を誘って一緒に遊ぶ
- ④他にもできることを考え、ふり返る。
「児童朝礼でもペア学年で並んでみたら」「遠足に異学年で行ってみるのも面白いかも」
「高学年が進んで他学年と接していくことで、末広小を笑顔いっぱいにする！」

このように、それぞれの小・中学校で子どもたちが課題意識を持ち、自分たちで取り組みを考え実行していくことで、今後社会に出たときに必要となる「主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力」を育てていきたいと考えています。また、次期学習指導要領で求められている、教科横断的・総合的な学習や探究的な学習を進めていきます。